

『ピンクリボンかながわ』が 10周年を迎えました！

神奈川県予防医学協会は、乳がん検診の受診率が低迷するなかで、受診率の改善を図るため、すでに全国的に活動を展開していた「NPO法人乳房健康研究会」と協力して、乳がんの早期発見・早期治療に向けた「ピンクリボン運動」に取り組むことにしました。

2006年に『ピンクリボンかながわ』を設立。代表は、NPO法人乳房健康研究会副代表の野末悦子先生にお願いいたしました。事務局を当協会に置き、ピンクリボン活動のスタートです！

神奈川県から貸与されたマンモグラフィ検診車の活用を図り、行政・企業・団体などと連携をしながら、活発な活動を展開してまいりました。イベントでは、マンモグラフィ検診車の展示や検診についての説明を。またピンクリボンブースでは、乳房模型を使ったしこりの触診体験や正しい自己触診方法の説明をしています。小規模の催しでは、乳房模型の貸し出しや自己触診方法が掲載されたリーフレットを提供するなどして、主催者への活動支援を行っています。

このように幅広くピンクリボン活動を行うことで培われた絆は、自治体・企業など業種を超えた新たなネットワークとなり、多くの方々に草の根運動として根付き始めています。

受診率の向上を実現し、ピンクリボンのメッセージを県民の皆さまへひとりに伝えるために、今後も『ピンクリボンかながわ』の活動を続けていきたいと思っています。

(ピンクリボン事務局 野口正枝)



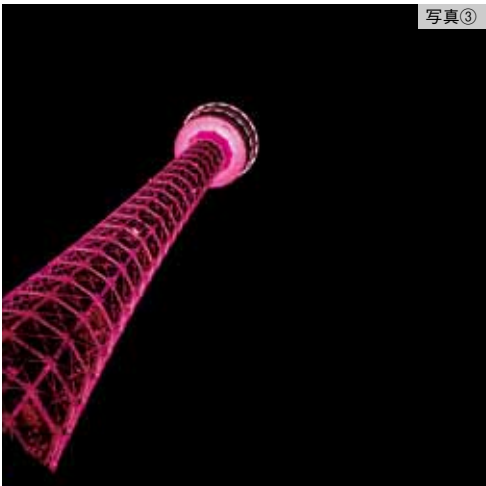
写真⑦



写真⑥



写真①



写真③



写真④



写真⑤



写真②

年	月	主な出来事
2015 (平成27)	9	「ピンクリボンかながわ2015」開催。2009年から毎年(2011年は除く)実施の県庁舎をはじめ、横浜市内8カ所のライトアップを実施(写真⑥)。他にも大船観音(鎌倉市)がライトアップに初参加。啓発ブースでは、オリジナルグッズでピンクリボン活動をPR。なかでも人気は「ピンクリボンベア」(写真⑦)。
2014 (平成26)	9	「ピンクリボンかながわ2014」開催。県庁舎など、横浜市内7カ所のライトアップを実施。
2014 (平成26)	1	横浜市内「ティー・ミーティング」ようこそ市長室へ」への参加。
2013 (平成25)	9	「ピンクリボンかながわ2013」開催。県庁舎など、横浜市内7カ所のライトアップを実施。
2013 (平成25)	4	横浜水道局とのコラボレーションによる備蓄用水缶「ピンクリボン缶」(5年備蓄350ml)を製作(写真④)。翌年7年備蓄500mlも作られる。
2012 (平成24)	9	「ピンクリボンかながわ2012」開催。県庁舎など、横浜市内7カ所のライトアップを実施。
2011 (平成23)	10	横浜F・マリノス協力の下、「ガールズフェス」で啓発ブースの設置スタート。
2011 (平成23)	9	「第56回予防医学事業推進全国大会」に参加。
2010 (平成22)	11	全国健康保険協会(協会けんぽ)神奈川県支部との連携スタート。
2010 (平成22)	9	神奈川県と「ピンクリボンかながわ2010」を共催。
2010 (平成22)	7	「健康かながわ」でピンクリボンメッセージのリレーコラムが始まる。
2010 (平成22)	2	「健康かながわ」が誕生。
2009 (平成21)	9	「ピンクリボンかながわ2009」を神奈川県と共催。県庁舎とマリニタワーをピンクにライトアップ(写真③)。
2009 (平成21)	9	麒麟ビバレッジ(株)協力による「ピンクリボン自販売機」が誕生。
2008 (平成20)	9	大学や地域での乳がん研修会への協力の機会が増加。
2008 (平成20)	5	「ピンクリボンかながわのホームページ」開設。
2008 (平成20)	3	「ピンクリボンかながわのホームページ」開設。
2007 (平成19)	11	「ピンクリボンかながわ」の展示スタート。
2007 (平成19)	9	「ピンクリボンかながわ」の展示スタート。
2006 (平成18)	10	「ピンクリボンかながわ」の展示スタート。
2006 (平成18)	4	「ピンクリボンかながわ」の展示スタート。